



## 産婦人科専門研修について

竹ノ子 健一 産科婦人科 医員

2018年3月 弘前大学卒

産婦人科研修プログラム 2020年度開始



私は大館市立総合病院で初期研修2年間を終えた後、3年目として弘前大学産婦人科研修プログラムを選択し弘前大学にて後期研修を行っております。私自身は早期に志望科を決定したのですが、決め手となる理由は人それぞれあると思います。自分の興味のある分野である、診療が肌に合っている、自分の時間もあり勉強もできる、職場環境の居心地が良いなどなど。私自身は産婦人科の魅力としてお産という新たな命の誕生の場の手助けを行い、おめでとうございますと言える環境にあると思います、産婦人科を専攻しています。

そんな私が大学で後期研修を行っている理由としては、専門性の高さにあります。大学では一つの科でも複数の分野にわかれて診療にあたり、各分野にて専門性の高い研修を行えます。設備も充実しているため、いわゆる最先端医療のための資源が確保されていることも専門性の高い医療を行う上で必要な環境です。その環境のもと経験豊富な指導医のもとで3年目として研修することは自身のスキルアップに直結すると思います、日々診療を行っております。

お産の少なくなっている日本ですが、ぜひとも皆さんと一緒に多くの方におめでとうと言える日を心待ちにしております。



胎児エコー検査中